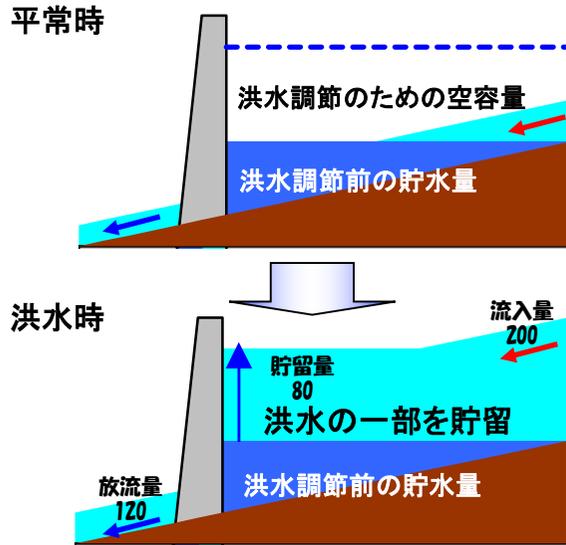


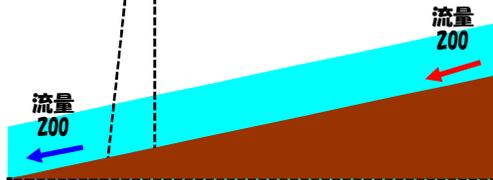
皆瀬ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）

ダムの洪水調節機能(イメージ)



洪水時に、例えば200流れている水のうち80をダムに貯め、ダム下流には120だけ流します。

ダムがない場合



流れている200の水は、そのまま下流に流れていきます。

このイメージでは、ダム下流河川に流れる水量は60%になり、洪水被害を軽減します。

※今後の調査により数値等が変わる場合があります。



皆瀬ダムでは、5月6日～8日の融雪及び前線（低気圧）による出水のため洪水調節を行いました。約144千m³の洪水をダムに貯留し、ダム下流の皆瀬川に流れる水量

皆瀬ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）

別紙

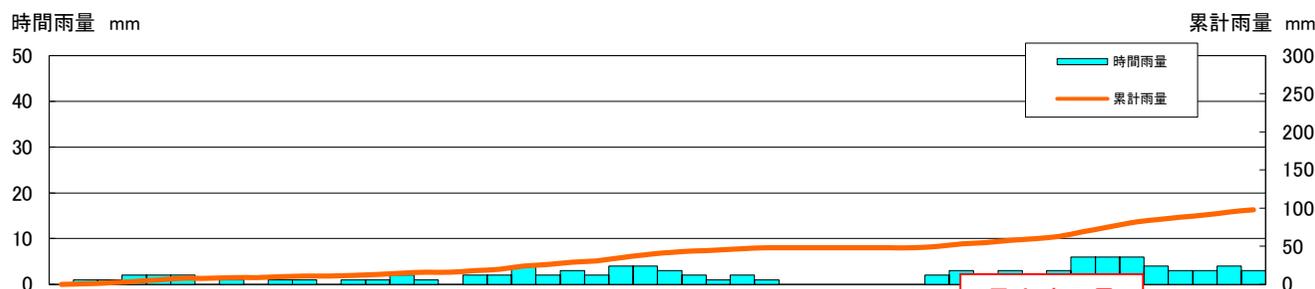
※今後の調査により数値等が変わる場合があります。

概況

皆瀬ダムでは融雪及び前線（低気圧）による出水のため洪水調節を行いました。

降雨の状況は、最大時間雨量6.0mm、累計雨量は105.0mmとなり、皆瀬ダムにおける最大流入量は111.14m³/sまで上昇しました。洪水調節の結果、洪水調節量として6.20m³/s、約144千m³の水をダムに貯留し、皆瀬川 戸波橋付近では0.03m、河川水位を下げることができました。

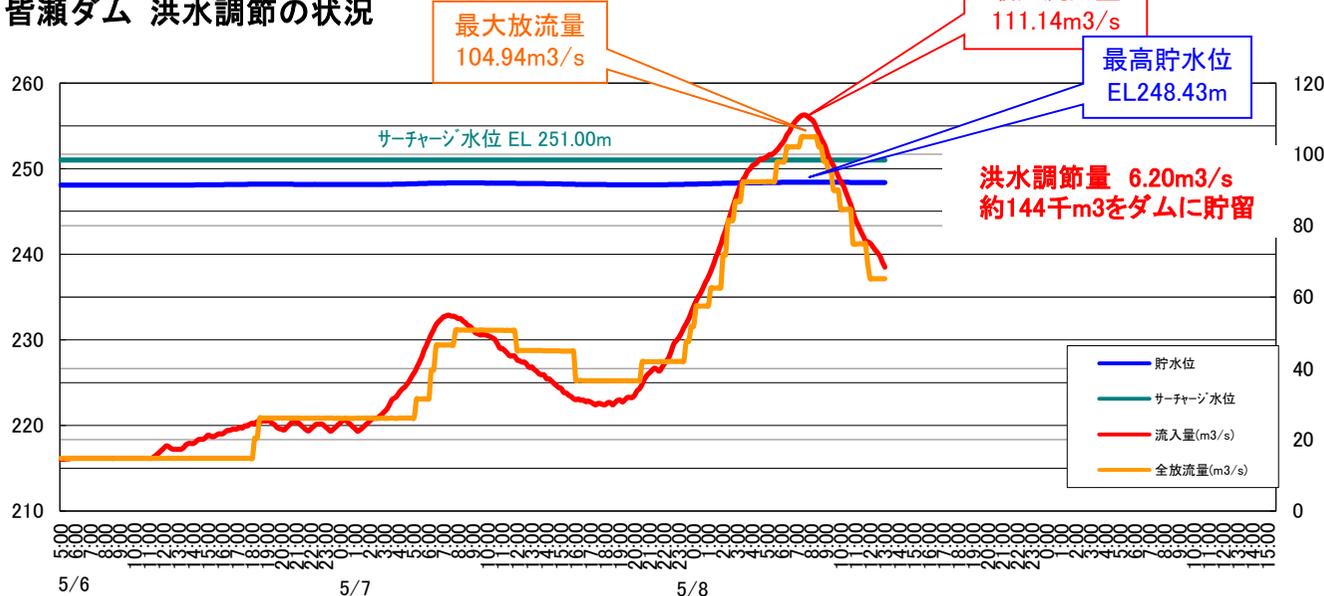
降雨の状況(皆瀬ダム流域平均雨量)



気象レーダ（5月8日 2時30分）



皆瀬ダム 洪水調節の状況



皆瀬ダム諸元

河川名	雄物川水系 皆瀬川
形式	表面遮水壁型ロックフィルダム
堤高	66.5m
堤長	215.0m
堤体積	575,000m ³
集水面積	172km ²
湛水面積	1.5km ²
有効貯水量	2630万m ³
サーチャージ水位	EL. 251.00m
洪水流量	100m ³ /s
竣工年度	昭和38年